

マイケルJローズ ニュースレター 2012年 春号



皆様へ

お元気ですか？四国山地はまだ雪化粧ですが、春の気配を感じる毎日です☆

昨年10月には、「愛の目を通して・自然界のスピリット・パンとの旅」ブックIが出版されました。その続編ブックIIも、翻訳を終え、この夏に出版予定です♪

自分へのご褒美に、3月5日からオーストラリアへ2週間行ってきます。マイケルのインテンシブを受けることが目的です。

インテンシブでは、ハートをオープンにして、ただこの瞬間にしようと思います。内なるところで何を感じるのか、とても楽しみです。メタフィジカルな旅での学びをさらにさらに深めているマイケルのお話も、帰ってきたらシェアさせていただきます。

マイケルは、「愛の目を通して」ブックIIIを書き終えました。8月の終わり頃には、原書で出版予定です。今、マイケルの意識とメタフィジカルな能力は、絶えず限界を押し広げ続けているそうです。大いなる自然のスピリットであるパンとのつながりもさらに深いものになっていると。今年のインテンシブでは、5次元の現実を含むメタフィジカルな洞察、新たな洞察をたくさんシェアしてくれるそうです。

さらにさらに広大な世界、豊かな世界にあって、私たちは、素晴らしい肉体を超えた愛と光の存在であることに感謝します。

日本でのセミナーは11月です☆よかったら、是非、「生命の流れ」の予定帳に、参加を表明して書き込んでくださいね！

大切に大切に、愛と喜びの毎日を創造してください♪ たくさん愛をこめて やすみ

* 2012年 マイケルのセミナー予定 11月3・4日(京都)6~11日(清里 6日前泊)です。

マイケルのお話 by マイケル



最近、フェイスブックで、よく黙想のコラムを書いています。もし、読まれているなら楽しんでいただけますように…。実は、たくさんの方が楽しんでくれています。ないほうが良かったファンページが、作家のページになって、私の著書の文章や一節が掲載されています。私の新年の誓いは、「偽りの謙虚さはもたない」です。とにかく、映画俳優や歌手には、ファンがいますが、スピリチュアルな師に、ファンはいません。私たちは褒められるか、批判されるか…一度に、その両方を受けるか、です！

少し真面目になりましょう。2012年についてのノストラダムスの予言を描いたDVDをもらったので、先日、キャロリンと二人で見ました。予言が、デルポイの神託で有名なアポロ神の巫女であるピューティアの時代まで遡る

ことに驚きました。紀元前1400年頃、その巫女は、未来に関する予言と洞察を与えていました。彼女は、21世紀初期の災難を予言していました。DVDの内容は21世紀初期の大きな変化に関する予言について、でした。何世紀も前のホピの予言から、2012年12月21日で終わるマヤ暦の予言、そして、黙示録さえも。その予言を笑い飛ばすことはできませんでした。私は騙されやすい人間ではなく・ええ、少し騙されやすい・私は、その言葉を「信頼する」に置き換えるほうが好きです。しかし、初期の予言の殆どは、今、私たちが経験していることと、類似しています。

DVD製作者のために書いておきますが、彼等は、予言に関する有名な懐疑論者からの批評も、逐次、載せています。しかし、愚かに思えたのは、すでに立証されたことを、あるいは起こりうる可能性を示す真実に基づくものを、すべてを否定しようとする論者でした。懐疑主義が彼の宗教ではないかと思うほどでした。

私とキャロリンに明らかになったことの一つは、黙示という言葉です。ウィキペディアによると、黙示とは、ベールをはがす、または暴露であり、偽りと誤解が支配する時代に、大多数の人類から隠されたことを明らかにすること、と記されています。どうですか？現代の宗教的解釈の多くは、黙示の内容が大洪水のような災難をもたらす出来事であると推論しています。

私たちは、偽りと誤解が支配する時代に生きています。世界規模での殺人や腐敗を用いて、影の権力が、偽り、不道徳と墮落から、世界を支配しようとしています。彼等は、お金を支配する自分たちが、人々を支配すると信じています。ある意味、本当かもしれません・・・お金でたくさんの人を支配できるでしょう。しかし、彼等は、大きな過ちを犯しています。人々を支配する自分たちが、世界を支配すると信じています・・・それは、誤りです。

世界、地球には、それ自身の予定があります。これまで人類が経験したことのないほど高まるカオスによって、地球の変化は、彼等の誤りを明らかにするでしょう。これが、真の黙示です。真理が明らかになるでしょう。

このことについて、インテンシブで話したいと思います。私は、メタフィジカルな旅をたくさんしています。エネルギーの世界にこれまで以上に向わされています。生命はエネルギーです。エネルギーは生命です。あなたの生命とは、エネルギーからなる現実を創造するために、エネルギーを用いているエネルギーなのです。

私たちが、物質的にエネルギーを使わないなら、肉体は死にます。考えるにはエネルギーがいります。否定的な思考は、肯定的なものよりもはるかに多くのエネルギーを必要とします。あなた自身への愛、他者への愛は、エネルギーを生み出します。そのため、私は、インテンシブやセミナーで、ますます元気になります。私の焦点は、愛にありますから。勿論、旅で疲れることはありますが、それは、一時的なものです。旅のあらゆる側面を意識して、旅を楽しみ、好きになればなるほど、私の愛のエネルギーは増えていきます。

あなたの暮らしは、日々、ほぼ同じことの繰り返しですか？あるいは、日々、新しいものですか？普段と同じ・繰り返しですが、私たちが葬ろうとしています。私たちは、活気がなく動きのない沈滞を生きています。これは、自然に反することです。自然の成長と表現の法則に反しています。沈滞を生きる・・・それは、終わりへの道です。

ある意味、カオスは、沈滞と恐れを標的にするようデザインされています。恐れは、沈滞の主要な原因です。私たちは、人生の新しさに反対します。何故でしょう？まず、理解する必要を求めます。あなた自身を、自分の人生を理解していますか？自分がしていることの原因を、したことの原因を正確にわかっていますか？真理において、いいえ、あなたは理解していません。「同じまま・繰り返しの日々」がどうして新しさを理解できるでしょう？明らかです・・・理解できません。

同じままとは、意識の一つの状態です。新しさは、意識の別の状態です。私たちが理解したいことは、常に、すでに理解していることに基づいています・・・明らかではありませんか？だから、それは、意識の成長ではありません。情報や知識が増えても、それは沈滞です。沈滞であることに変わりはありません。

では、黙示・啓示に戻りましょう。人生が、多数を支配する極少数の人々の思うがままになるのはどうでしょう。

無情な少数にたくさんの方が操られている、それは受け入れ難いことでした。何百万という人々が排除されるまで、です。第三世界の貧困は、悪天候や、不運のせいではありません。それは、大規模な操作です。

このことを消化するまでにしばらくかかりました。人間の貪欲さと腐敗が、それほど非人間的なところまで落ちうることを受け入れるには、時間がかかりました。これは、お金についてではありません。何百億、何兆とお金がある、それは、権力についてです。古い格言があります。絶対的権力は、完璧に墮落する。

こういった人々が、人類の手かせ、足かせとなっています。私たちは、一つの意識です。少数のひどい墮落は、多数にあるたくさんの小さな墮落を反映しています。そして、変化は、二極性による奇跡を利用します。墮落は、少数によってますます対極化しています。

一方、たくさんの人々に慈愛と思いやりの気持が現れています。南極と北極の磁極が不安定になってきているなか、人類の二極化も崩壊するまで不安定になるでしょう。私たちは、そういった機会を黙示と名づけます。

あなたたちに知ってほしいのです。私たちは、大きな変化のなか、どうしようもない存在ではありません。これが、今年のインテンシブの主要なテーマになります。私たちに何ができるでしょう？答えは・・・たくさんあります。

私は、あなたの内にまだつながっていない秘めた力があることを示します。その秘めた力とつながるには、ある種の意識が必要です。私たちはつながることができます・・・そうする必要があります。2012年に起こりうるものがどんなことであろうと、すべて意識についてです・・・意識は、エネルギーです。エネルギーは意識であり、意識はエネルギーです。

どのように使うかは私たち次第です。政府のすることが、物質的なレベルである程度役立つかもしれないし、その物質的成果もあるでしょう。しかし、黙示とは、新しくより高いレベルのエネルギーについて、です。

変化はエネルギーの表現です。人間のエネルギーは、沈滞に苦しんでいます。繰り返しは止めましょう・・・新しさへ向かう方法は、新しいエネルギーです。言い換えると、新しいあなたを意味します。同じままでいながら、変わることはできません。選択して、その選択を生きなければなりません・・・私たちは、選択をするか、同じままでいるかです。

あなたは、エネルギーです。「新しさ」か、「同じまま」かは、今の時代に、誰もが直面している選択です。愛を選択しましょう。

愛と光の中で マイケル

ご挨拶 by キャロリン



「2012年」が、インターネット検索で、一位になっていると聞きました。あらゆる国々、文化圏の人々は、シフトが起きていることに気づいています。

私たちに届く意識を高める内容のメールの数が指標であるなら、私たちは、進化する意識と共に高まっています。人生・生命のより広い真実が、恐れと混乱のベールに隠されていても、素晴らしく、不思議な何かが、起きている・・・まさにこの瞬間に起きていることを、私たちは思い出しています。

大多数の潜在意識にあるプログラミング—それは、人々に認められることや、多くの人々と同様に振舞う必要性や、変化への恐れなど、です—が、真実の光に取って代りつつあります。私たちが直面しているのは、世界の終わりではなく、低い意識の終焉です。

人々は、日々のドラマにいと簡単に捕らえられ、あの人がかう言った、ああ言った、あなたは、私を傷つけた・・などと、すぐに平安を失います。今、意識の大掃除が起きています。生命のより大きな全体像、生命・人生の広大さ、神秘や継続性に焦点をあてましょう。

一つ一つの人生は、永遠というタペストリーの本の糸に過ぎないことを思い出すのです。問題があるとき、自分に問い返しましょう。この問題は本当に重要なことだろうか・・広い視点から見ると、取るに足りないことではないかと。

今、私たちは、より高く細やかな意識の波動へと一新されているのです。すべての問題を手放して・・・愛を選択しましょう。

「ラブ・バグ(愛の菌)」を広げていきましょう。家族に、友人に、見知らぬ人に、「手助けが要りますか？」と声をかけてあげてください。全ての生命は、神聖です・・その視点から生きてください。全体像から見ると小さな違い、取るに足らぬ違いは手放しましょう。スピリチュアルに目覚めた社会というビジョンを持って、大いなる愛を放つ自由を祝いながら、そのビジョンが現れるとハートから感じましょう。そうすることで、私たちは、本当のふるさと(HOME)へと向っているのです。

輝く愛と光とともに キャロリン

質問と 洞察

by マイケル



質問とは、自分の外に答えを求めていることを意味します。覚えておいてください。質問があるときは、あなた自身のより深いところにすでにその洞察があります。それが一体性というものです。このコラムはあなた自身の内なる洞察や知恵への飛び込み台となるものです。

質問: 人生で、手助けが必要な時、それはいつもやってきます・・今回は、あなたのニュースレターでした。ここ数週間、私は自分に根深くある古いパターン、でも、人生に対し、気づかないまま「ノー」と言う自分に悩まされてきました。単純に「イエス」に変えようとしたのですが、うまくいきませんでした。そんなとき、ニュースレターを読み、人生に対して「ノー」はできないと、突然、わかりました。私が人生です。自分で終わらせる小さな肉体です。私のアイデンティティに「ノー」は言えますが、人生に、本当の生命に、永遠の生命に「ノー」は言えません。おそらく、私は、古くからの痛みのパターンが嫌いなのです。それを、手放すことができていないのです。あなたは、「私たちは、愛と光の大いなる存在である」と言います。そう感じることはできません。全てが完全だと感じることはありません。平安、そして、オープンで静かな状態に達したと思われる瞬間があります。しかし、古くからの疑いや恐れが戻ってきます。どうしてですか？

洞察: その通りです。あなたは生命です。生命・人生に「ノー」と言うのは、自分に「ノー」と言うことです。良いことではありません。痛みの古いパターンは、いつも、潜在的なレベルにあります。だから、終わりのない繰り返しの人生を生きってしまうのです。潜在意識から、愛と光の存在であると感じることはできません。愛は、潜在意識ではありません。愛は、創造のパワーであり、十分に意識的です。潜在意識から生きるパターンを壊す・・シンプルなことですが、簡単ではありません。意識して生きる練習をするのです。人生の瞬間、瞬間に気づいていなさい。

昨日と、一週間前と、一ヶ月前と、一年前と、十年前と、前の人生と「同じままの思考」・・・古くからの繰り返しの思考である疑い、恐れ、不安、心配などから生きるのは、やめましょう。それは、沈滞です。

毎朝、起きた時、ベッドから出る前に一日を選択しましょう。「愛を選ぶ」と・・・あなたのために、体のために、人々のために、生命・人生のために。その次の日は、「賞賛」を意識して選ぶのです・・・あなたのために、体のために、人々のために、生命・人生のために。その翌日は、「敬意」の一日にします・・・あなたのため、体のため、人々のため、生命のため。毎朝、あなたのエネルギーを何処に向けるか決めるのです。好きなだけ同じ選択を繰り返すこともできます。一年ほど続けると、継続するだけの叡智が、あなたにそなわります。うまくいきます。あなたの焦点のあるところへと、エネルギーは流れます。あなたの焦点であるエネルギーは、あなたの生命エネルギー・・・あなたの人生です！

日々のなかで、意識して・・・愛を選びましょう。

質問: 過去と現在の人生は、本質的に自分自身への自己投影ですか？又、最近、エリザベス・ハイチの「イニシエーション」を再読して、地球の驚くべき進化のサイクルに関する古代の情報をいくつか見出しましたが・・・マイケルの観察と一致していました。又、本の中で述べられていますが、スピリット、あるいはメタフィジカルな存在として、私たちは、様々な人生に自分自身を投影していると。おそらく、その程度も様々です。少し、こんな風に想像しました。自分が映画を見ているとき、ただ見るのではなく、映画の一部になると。また、その本によると、生まれてくるには、星座の位置によるところが大きいと。自分の好きなように入ったり、出たりはできないと・・・ふさわしい共振が不可欠であると。メタフィジカルな見地から意味をなしますか？

洞察: 私たちは永遠の存在です。意識の成長を促す方法で、自分のイメージを演じるために直線の時間を利用しています。私たちであるセルフ(本当の自分)は、全ての時間を含む球状の時間にいます。時間のないところから、直線の時間に投影するセルフのイメージは、必要なアイデンティティを持ちます。残念ながら、種として、私たちは、本当の自分である不滅のセルフよりも、制限のあるアイデンティティが自分であると、投影されたイメージを自分であると信じます。たくさんの生まれ変わりを通して、その幻想が幻想であることを明らかにする道を歩むか、偽りの幻想をさらに深くする道を歩むか、です。偽りの道では、自分が騙す人であり、騙される人です。

「自分の好きなように入ったり、出たり」についての質問ですが、肉体を持つ、それは、完全に私たちの意識の状態によります。学んだり、手放したりする必要のあること全てが私たちの意識にあります。私たちの個人的な意識は、「生命の書」のようなものです。意識の内容は、いつ、何処で、誰のところに生まれるかを決めます。ええ、星座の位置が、関わっています。影響を与える星座の位置のタイミングで生まれ変わります。それが、自分に有利な時も、そうでないときもあります。私たちがオープンで、気づいているなら、星座の位置は、私たちが、人生の質、課題、中味を注意できるようなやり方で、私たちに影響を及ぼします。独断的で閉ざしていると、私たちのためになることはなさそうです。

質問: ここ数年起きていた経験です。ベッドに入って眠りに落ち始めると、不快なシューという音で目が覚めます。すると、ベッドの上か、私の上方に蛇が見えるのです。蛇は、大抵、その頭をもたげて私を見つめています。寝室は真っ暗ですが、目を開けると影のように見え、次第に消えていきます。目を閉じているときも見えます。ですから、いつも恐くなります。心臓の鼓動は早くなり、身体が震えます。蛇が私を傷つけるとは思いませんが、怖いのです。普段の私は、蛇が怖くありません。蛇には敬意があるし、メッセンジャーとして現れる時はパワフルな意味を持っていると思います。蛇が、一番よく現れますが、蛇だけではありません。初めのころは、大きな蜘蛛でした。それから、蛇になり、ねずみ(恐くはありませんが)になり、一度は、グレートデーン犬だったことも、二度ほど、人間だったこともあります。しかし、聞こえる音はいつも同じです。本当に聞こえるのです。大抵、一ヶ月に数

回起きます。時々、何もなるときもあります。しかし、私の周りに白い光を思い浮かべてから寝ると、そういったことは起きません。最近では、音だけが聞こえます。動物の姿は見えませんが、目は覚めます。しかし、蛇が一番リアルです。私に何かメッセージがあるのかどうか知りたいと思います。蛇のエネルギーに向き合う必要があるのかどうか、あるいは、それは、脅かすことを楽しんでいるアストラル体の動物にすぎないのか。明確な理解を得ることができると、対処することも、恐くて目を覚ますこともなくなるのでは、と思います。

洞察：興味深い経験です。シューという音、それは、アストラル投射、あるいは、体外離脱についてです。あなたの経験からすると、あなたのアストラル体は強いようです。おそらく、エーテル体のほうが少し弱いでしょう。人によっては、その反対の人もいれば、バランスのとれた人もいます。毎晩、眠ると、私たちは、アストラル界へと向きます—実際、私たちは、日々、そこで生きていますが、物質的なことに、私たちの注意が全て奪われています。強いアストラル体が、アストラルの旅に印象を濃く与えるのは簡単なことです—大抵は、生き生きとした夢として見ますが…。アストラル界には、奇妙な存在がたくさんいます。私たちは、意識してこういったものを見ないようにしています。薬物を使用すると見ることができますが、大抵、精神の、感情の崩壊が起きてきます。メタフィジカルな旅で、私は、亡くなってからのちも、まだ肉体を持っているかのように振舞っている人々をロンドンの町で見たことがあります。四世代に及んでいました。死はありません。肉体の死だけです。肉体を持っている人が、彼らを見ることは殆どありません。彼らも生きています人たちを見ることはめったにありません。

蛇は、あなたの経験にとって支配的です。もし、蛇が好きなら、あなたの高まるスピリチュアリティを表わすことになります。あなたを恐がらせるなら、あなたの恐れを表わすことになります。彼らがあなたを襲うことはないのですから、私だったら、自分に何を教えているのか聞くでしょう。グレートデーン犬は、より温和なアストラルの存在を象徴します。ねずみは、いたずらな存在を表わしている可能性があります。危険ではありません。

目を開けているときも見るができるということですが、私も経験しています。だから、これは、すべてアストラルであると確信しています。気づいているかもしれませんが、恐れることは何もありません。否定的な思考や恐怖映画は、避けましょう。しかし、全ては、あなたに役立ちます。蛇と向き合い、質問し、お互いのために喜んで協力すると伝えなさい。夜、寝る前に、自分の意図を明らかにしなさい。可能性において、蛇は、あなたの高まるスピリチュアルな意識を表わしています。だから、蛇と共にいて、楽しみなさい。一つだけ避けるべきことは、恐れを投影することです。信頼です。白く輝く光が有効なことを知っているのですから、何かのときは、白く輝く光があるのですから。毎晩、寝る前に意識して…愛を選びなさい。そうすれば、アストラル体での経験のレベルを引き上げるでしょう。

質問：現代の聖者は、メタフィジカルなレベルで私たちにどのような影響を与えるのでしょうか？私は、最近、マザーミーラのダルシャンに行ってきました。インドの聖者であり、かなり若い女性ですが、明らかに覚醒しています。彼女は何も話しません。しかし、彼女の前で、ひざまずいている人たちにダルシヤナを与えます。一人一人、頭に触れ、目を見つめます。二時間半の間に、300人の頭に触れました。彼女は、一日に二度、ダルシヤナを与えます。彼女との一対一の出会いは、とても短いものでした。それ以外の時間は、ずっと待っています。会場の雰囲気は、とても平安で静かです。殆どの方は、かなり健康的で思いやりがあり、意識を高めることに興味があるようでした。私が参加した理由は、好奇心からです。私は、あまり感じないほうなので、個人的な期待はもっていませんでした…

彼女のような存在が人類に与える影響はどんなものなのか知りたいのです。彼等は、エネルギーのシフトを作り出しますか？どのように？彼女のような波動をもち、私たちの意識レベルに直接影響を与える人は、この地球に何人くらいいるのでしょうか？

洞察: ダルシャンは、サンスクリット語で一見です。マザーミーラが、謁見するとき、彼女はその人の神聖さを見えています。魂の認識であり、魂の挨拶です。この経験は、いろいろな意味で、魂への滋養となります。それは、ダルシャンを受けている人にエネルギーのシフトを作り出します。それによって、人類のエネルギーが強まります。私たちは、全体の一部であり、一部の中の全体です。それから、この地球に彼女ほどの波動を持つ人が、どれくらいいるのかについては、十分な数ではありません。マザーミーラがしていることをできる人は、数百人でしょう。たくさんではありません。ダルシャンをメタフィジカルに見ると、光の分かち合いが見えるでしょう。ダルシャンが、どれくらい影響を与えるかは、ダルシャンを受ける人がどれほどオープンであるか次第です。

全ての人類は、個としてワンネスを探求する一つの意識です。一人が経験することは、全てが経験します。私たちには、選択があります。ワンネスか、分離かの選択です。大多数の人は、分離を選びます。しかし、公正に言うと、選択があることを知っている人は殆どいません。閉じた目には見えません。

質問: 音楽は、次元を超えますか？全ての芸術は、次元に限定されます、そうですね？しかし、音楽はどうですか？次元による制限を超えますか？そうなら、どれくらい？どんな音楽が？ヘビメタの音楽は、パッパやモーツァルト、インドのシタールよりもかなり限定されていると思います。ヘビメタは反対方向へ超えていきそうです。人間性の進化に関するマイケル・マーフィーの本に、有名な詩人のゲーテが死ぬときの様子を記しています。ゲーテの家から音楽が聞こえたのです…誰も、何もしていないのに。そして、だれもが、それは、悲しみの音楽ではなく、楽しい調べだったと…

洞察: ええ、次元を超える音楽があります。しかし、私たちは、物質的に、三次元で生きていますが、メンタル面で、感情面で、物質的次元に制限されていないことを知っておく必要があります。音楽の音は、物質的ですが、それは又、メタフィジカルでもあります。三次元にながら、私たちはアストラル界を生きています。ヘビメタだけでなく、俗悪な音楽は、低いレベルのアストラル界に広がります。それは、とても魅力的ではないものにとって魅力的です。良いつながりではありません。エネルギーの高い愛の歌や調べ…音楽家や歌手が愛を感じていると、より高いレベルへと上がります。私たちは、大抵、たくさんあるレベルのアストラル界を異なる次元として話しますが、それは、違います。それは、一つの次元の中のレベルの違いです。または、現実のフレーム内です。

ゲーテの死にともなう音楽については聞いたことがありませんが、より高いレベルの存在が、偉大な魂の新たな旅立ちに音楽を贈る、それ以上の素晴らしい榮譽を想像できません。

質問: 2012年に起きうる変化で一番高い可能性は、あなたの直観によるとどんなことですか？

洞察: どんなことが起きるにしても、2012年の出来事は、すべて意識についてであり、2012年は、大きな変化の時期として、表現されるでしょう。過去一千年以上、人類は、知的に成長してきました。しかし、意識は成長していません。今日、世界を荒廃させるのに、小さな国一つあれば十分です。私たちは、常軌を逸しています。つまり、私たちには、世界を破壊する能力があります。私たちの敵対的な攻撃性を抑える手段もありません。

自然は、バランスを取るために活動を起こし始めているように思われます。この世界を、豊かな自然と共有し続けるつもりなら、私たちは、意識を成長させなければなりません。戦争が、科学技術の進歩を引き起こすように、とてつもなく大きな変化をもたらす惨事は、人間の—1パーセントの人類ですが—意識の成長のほとぼしりを引き起こすでしょう。残りの人々にとっては、さらなる恐れと非難を引き起こすこととなります。

もっとも高い可能性として、あらゆる人が、意図的にしても、そうでないにしても、これからの数千年の彼等の未来を選ぶことになるでしょう。

2012年の出来事が、新生なより高い意識へのステップとなる人たちがいれば、さらなる恐れ、非難、幻想の繰り返しとなる人々もいます。

マイケルに質問のある方は下記のアドレスにご連絡ください。

英語での質問はキャロリン宛: Carolyn@michaelroads.com
日本語は、こちらへ: info@michaelroadsjapan.com

意識のコラム by マイケル



家族について:この数年間に、私の家族に起きたことを書きましょう。

私たちは、家族について、実際よりも、かなり概念的な考えを抱いています。たとえば、私は、しっかりと結びつきのある家族の一員だと本当に思っていました。実際、前妻のトリーニーが亡くなるまでずっとそのようでした。その後、ほどなく、家族は、ばらばらになりました。後に、残されたものは、家族というよりも、ばらばらになった縁続きの人々です。私の家族は、これまでトリーニーが望み、期待したように振舞っていたのです。彼女が、家族を繋げていました。トリーニーがいなくなると、その行為が終わりました。もう彼女がいなくなり、私も必要ではなくなりました。

そのことで、気持が動転することはありません。あるがままです。トリーニーも私も、これまで子供達のために人生を生きてきたわけではありません。子供達のために出来ることはすべてしました。しかし、私たちは自分の人生を生きました。子供達のために生きてこなかったのばらばらになったのかもしれない。もしそうなら、それでかまいません。今、キャロリンと結婚し、私たちは、自分達の人生を生きています。子供達から、孫から、必要とされる必要はありません。私は、家族志向の人間ではなく…多分、その表現は正確ではありません。私にとって、真の家族とは、スピリチュアルな家族です。その家族とは、たとえば、急速に成長を遂げている美しい合唱団の歌であり、私は、その歌の音符の一つです。

私は、子供や孫たちとの関わりがないことを淋しくは思いません。祖父母が、泣き叫ぶ孫をなだめようとしたり、親が十代の子供と言いつ争っていたりするのを見ても、なつかしいとは思いません。私も、同じことをしてきました。子供達が全員集まったクリスマスの日々を思い出すとき、その思い出を大切にします…が、これは全て過去の思い出です。私の人生は、豊かです。思い出に時間を費やすことは殆どありません。この瞬間が私の滋養です。

孫達の多くは、もう成人、あるいは、成人に近づいています。彼等と私は、同じ言葉を話しません。私の言葉は、愛、スピリチュアルな生き方、感情のバランスについてです。彼等の言葉は、音楽は別にして、彼らに関心のあることです。孫の多くは、遠くに住んでいるし、近くにいる孫も、私に関心がありません。忙しい日々を過ごしています。それが、彼等の選択であり、私は、受け入れています。

確かに、私は家族志向の人間ではありません。しかし、家族を愛しています。親密な家族ではないという事実、それは、私たちが選んだことです。だからといって、彼らへの愛に変わりはありません。あるいは、願わくば、彼等の私への愛に！

確かに、息子の一人は、彼の人生から私を閉め出しました。彼は、私が間違っているし、ひどい父親だと思っています。彼が自分の深いところにある怒りに対処するまで、この関係は続くでしょう。彼には、素晴らしいところがたくさんあります。しかし、感情面では、これからたくさん学ぶことがあるでしょう。最後に、私たちが言い争った後、学んだことがあります。私は、彼である魂を愛しますが、彼の私への向き合い方を、感情的に好きになる必要はありません。感情的な義務…こっそりと入り込む足かせです！親密であれ、ばらばらであれ、家族は、それぞ

れに必要な学びを教えあいます。息子との関係から、学んだことは、私にあった感情的な義務感に気づき、手放すことでした。感情という錨に結び付けられていたようでした。手放したので、私たちの最後の衝突が、本当に最後のものとなりました。

私の家族について書きましたが、それは、ある家族と出会ったためです。キャロリンの親しい友人、今では、私の友人でもあるカリン・ピストンの家族です。キャロリンとカリンは、お互いの子供達と一緒に育てました。カリンの父母は、まだ健在で、九十代に近づいていますが、家族の中心となっています。活動的であるだけでなく、頭も冴えています。カリンには、三人の姉妹と弟がいます。カリンは、離婚しましたが、彼等は全員、結婚していて、子供達もいます。

彼等家族に言い争いや、喧嘩が全くないと言うつもりはありません。彼らにも衝突はあるでしょう。しかし、これまで見た限り、とても結びつきの強い家族です。論争や不一致に支配されることはありません。勿論、言い争いはありますが、すぐに終わります。彼等は、家族として調和を大切にしています。彼らが全員、同じ部屋に集合したときは、信じられないほど賑やかです。勿論、彼等はイタリア人です。彼等の誰もが、オープンで、おしゃべりで、賑やかです。

カリンの両親が共に暮らしてきた六十二年の間には、たくさん浮き沈みがあったけれども、彼等の宗教と愛が二人を結び付けてきたと聞きました。二人ともよく働いたそうです。今、彼等は、お互いの違いを受け入れ、その違いのためにお互いを楽しんでいます。彼らは、支え合い、話し合う仲の良い家族です。

しかし、こういう家庭は少数です。カリンの姉妹の夫たちは、妻の家族の集まりに嫌々参加しているのではなく、彼らも、その集まりと愛の一部であることを喜んでいますが、誰もが、心から愛しあい、敬っているように見えます。

残念ですが、こういう家族は一般的ではなく、多くは、お互い言い争い、暴力を振るうことさえあります。殺人や暴力は、家庭内で起きることのほうが多いようです。たくさん統計が、支えあう家族はあまりいないことを示しています。家族のつながりが欠けるのは、私たちが本当のコミュニケーションの仕方を失いつつあるから、です。インターネットやフェイスブックなどの電子化した世界になっています。その結果、どうなるのかわかりませんが、支えあう単位としての家族の側面は、失われつつあります。

あまりにも忙しすぎる、することが多すぎます。

しかし、私たちには、誰も避けることのできない、ダイナミックな関係があります。それは、自分自身との関係です。私と私自身との関係は、私が、人生で作り出したものです…いいえ、いくつもの人生でと言い換えます。私は自分を愛しています。あるがままの私を。本当の私を。私の体を。人生を愛しています。勿論、キャロリンも、娘のトレシーも愛しています。ですが、何よりも大切なこと、それは、自分自身との敬いある関係であり、それが私たちにとっての試練です。創造のパワーである本当の愛の要となります。

支えあい共に過ごす家族と違って、ばらばらで暮らす家族は、家族の必要性が少ないのだらうと思います。花のように、愛は育まれて成長します。結びつきの強い大家族の愛は、友人をも含む愛に広がる傾向があります。会うと抱擁・ハグし、愛の言葉を交わします。孤立した家族の愛は、小さな家族の単位に留まる傾向があり、親戚の人々にまで愛を広げることにとまどいます。彼等は身近な家族以外と抱擁することはあまりしません。

私の家族は、ばらばらですが、私はハグが好きです。トリーニーと私は、共に、自分を愛することを学びました。キャロリンも学びました。自分への愛を育てる過程で、家族への愛をないがしろにすることがあるかどうかですが…キャロリンは、ないがしろにしませんでしたが、私はないがしろだったと思います。しかし、自分への愛と、家族への愛を同時に育むことは、勿論、できます。

家族は内なる成長の機会を作り出します。原因と結果のカルマは、家族に、相互に恩恵をもたらします。各家族の歴史が、その後の家族のありようを決めていきます。支えあう伝統のある家族は、それが継続し、あまり交流のない批判しあう家族は、同じ傾向にあります。私の家族の歴史も、そうでした。私は、兄を愛していますが、彼を親しく感じることはありません。私が彼をハグすると、彼は、困って居心地悪く感じるでしょう。しかし、握手より

もハグは、つながりを深めます。私の家族の多くは、お互い、まったく異なることへの情熱と経歴をもっています。

私は、武器に関心がありません。また、逆にガーデニングに関心のある家族はいません。トレイシーだけが、私のスピリチュアルな道に関心があります。他の身内に興味のある人はいません。大きな隔たりがあります。私の家族は、お互いに緩やかなつながりです。私は家族の長タイプではありません。それに、そうするにもばらばらになり過ぎています。男性や女性が家族の長となって、なおかつ健全であるのは、もっとつながりの強い家族です。

自分の家族のありようを受け入れましょう。こうあるべきという考えは手放すのです。あるがままの家族と、そのありようをそのまま受け入れ、感謝しましょう。私なら、何も変えようとしません。人生の中で、家族の中で、自分の場を見出し、そこで学ぶ必要のあること、成長するべきことを受け取ります。

家族とは、私たちを成長させるための媒体であることを見失わないように。誰もが、自分で学ぶと決めた学びをするでしょう。あるいは、初めからやり直すでしょう。誰もが、自分の課題を学ぶために家族を選んでいるのです。私の家族が近くにいても、いなくとも、彼等は、私が彼らから学ぶ必要のあることを私に教え続けるでしょう。彼らも、私と同様に、内なる成長の機会に注意を払うよう願います。

2012年のセミナーツアーに出発すると、世界中の素晴らしい、成長し続ける家族と再びつながります。私は祝福されています。あなたのハートをオープンにしてくれることに感謝します。

愛と光の中で マイケル

インテンシブ in 2012 Transition into Love . . . the Shattering of Illusions 愛へ・・・幻想を砕いて

世界のエネルギーは、シフトしています。エネルギーが高まり、新しいパラダイムが展開しています。カオスが高まっています。全ての生命には、確率の要素があります。私たちは、高い確率で大きな変化が起きるという事態に直面しています。移行の時、次元シフトの時代にいます。

それは、三次元、四次元の現実が、高められた意識の人たちにとって五次元の生き方になるという意味です・・・今。

最近のメタフィジカルな旅で、私は様々な次元を探求しています。次元の体系とその意味の詳細を、また、五次元現実への移行がどういう意味なのかについて話しましょう。

このシフトは、すべてに影響を与えます。私たちは、相容れないエネルギーが離れていく、分離する時代に向っています。考えてみてください。低いエネルギーの感情を作り出す低いエネルギー思考の人は、低いエネルギーの変化に関わることとなります。

同様に、意識して、日々、愛を選ぶなら、そのエネルギーは、より高いものになっていきます。私たちは、自分の思考と感情が、新しいパラダイムのエネルギーと共鳴するか、そうでないかの時代に入っています。その選択が、私たち一人一人の道を決めるでしょう。

2012年のインテンシブは、愛の新しいパラダイムと共鳴する生き方、そして、その意味についてです。

愛の選択に遅すぎることはありません。無条件の愛は、幻想を打ち砕きます。
愛を選択しましょう。

マイケル・J・ローズに関するお問い合わせ先: マイケルローズジャパン 大亀安美

TEL /FAX 0897-34-8914

URL: <http://www.michaelroadsjapan.com> e-mail: info@michaelroadsjapan.com